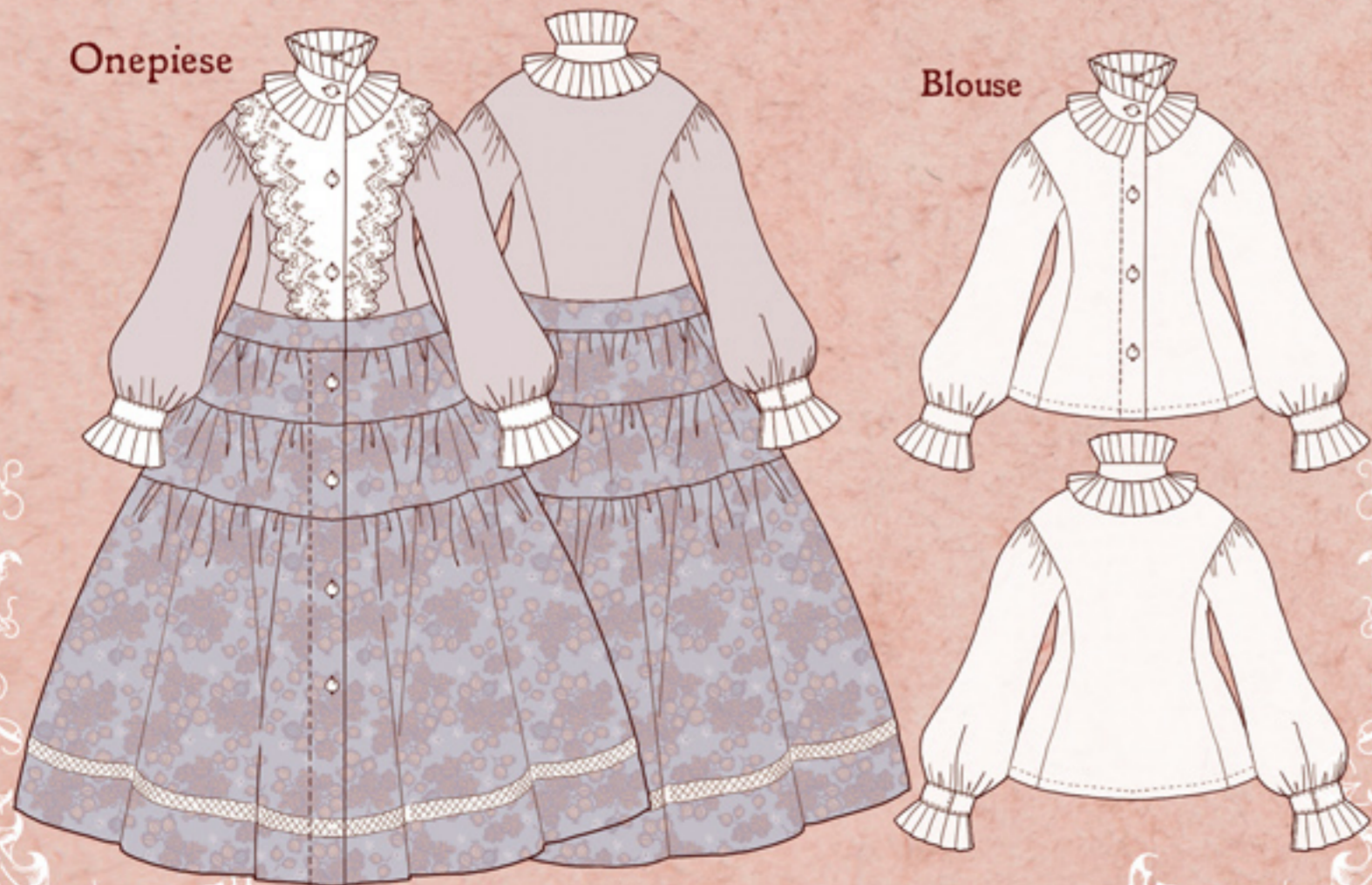


Sylvia -mignon-



Onepiese

Blouse



Sylvia -mignon-

peta-peta pattern set vol.26

※ size ※

SDM

SDM(MSD)サイズ

How To Make [Sylvia-mignon]

はじめに

peta-peta pattern vol.26 [Sylvia-mignon]を手にとっていただきありがとうございます。ワンピースと、応用で作れるブラウスのパターンセットです。

下にペチコートやドロワーズを合わせると、スカートが広がってより可愛いシルエットになります。ドロワーズのパターンと作り方は、peta-petaのサイト上にて無料で公開していますので、ぜひセットで作ってみてください。

このデザインはワンピース、ブラウス共に、みごろと袖の縫い合わせが少し特殊な手順になっています。パネルラインのようなわきみごろパーツですが、先に袖のパーツに合体させてから袖山のギャザーをよせて、前後のみごろと縫い合わせます。

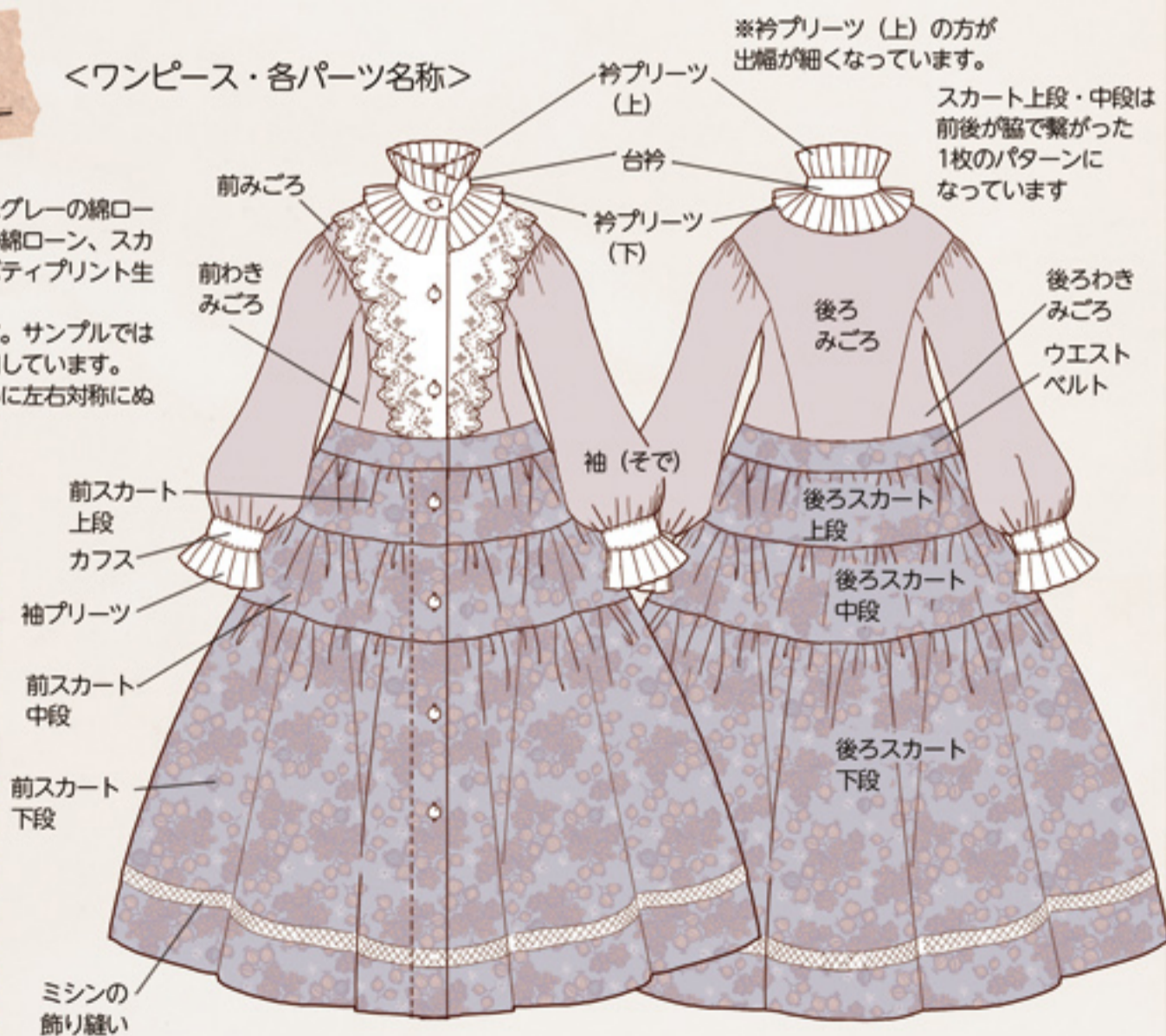
スカートのパターンはベルトパーツ以外は全て長方形なので、裾にリボン状の装飾を入れやすい形となっています。今回のサンプルでは、刺しゅう機能のあるミシンを使用して、飾り縫いを入れてみました。シンプルにステッチのみでも良いですし、リボンやレースをたたいたり、ピンタックを入れるのもいいと思います。お好みで仕上げてください。



SDM size

<ワンピース・各パーツ名称>

サンプルではみごろ表地にグレーの綿ローン、袖口・衿・裏地に白の綿ローン、スカート部分に綿ローンのリバーティプリント生地を使用しています。胸元の装飾は綿レースです。サンプルではアンティークのものを使用しています。衿をつける前に、表みごろに左右対称にぬいつけます。



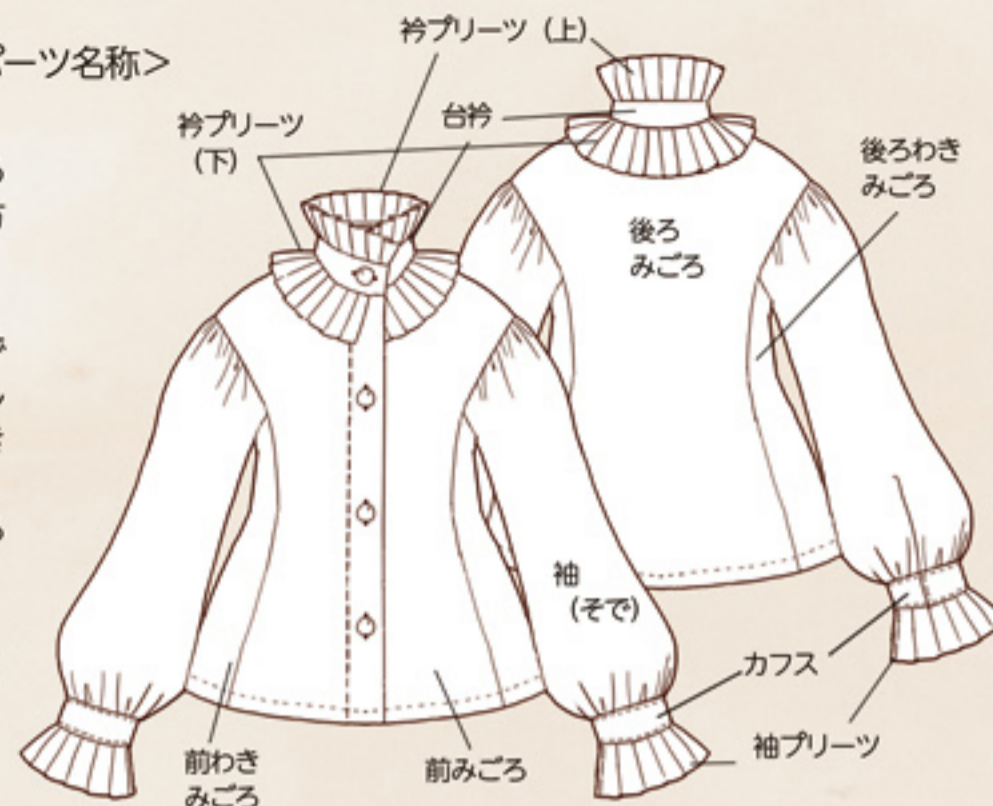
SDM size

<ブラウス・各パーツ名称>

ブラウスは、ワンピースのみごろの応用で作ることができます。衿やカフスのパーツの作り方や付け方は、ワンピースと同じです。

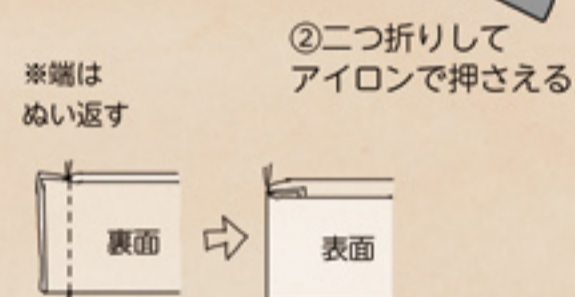
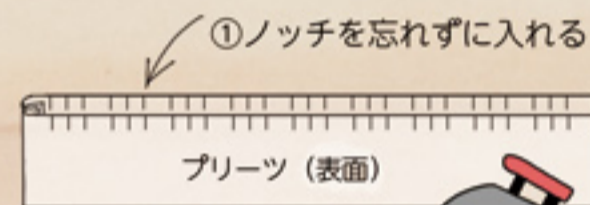
大きく違う点は、みごろの裏地を作らない所です。パーツをぬいあわせたら、その都度ぬいしろにロックミシンをかけながら組み立てていきます。

前みごろのボタンあき部分は、最初にぬいしろにロック始末をしておき、二つ折りステッチ。裾は最後に三つ折りしてステッチをかけます。三つ折りが難しい場合は、ロック始末+二つ折りステッチにしても問題ありません。



プリーツフリルの作り方

プリーツは、丁寧に手で折り目を付けてから、直線ミシンで押さえていきます。まずは縫いはじめる前に、プリーツのパターンを出来上がりの線に沿って試しに折ってみて、プリーツの折り方のイメージを掴んでください。(※パターンに折り目がつくと寸法に誤差が生じてしまうので折ったパターンは、裁断には使用しないでください。)

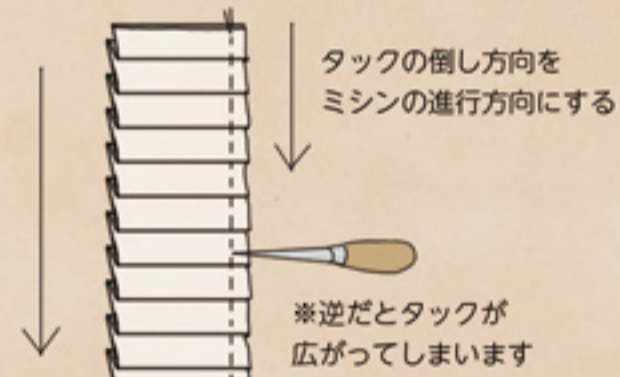


③ノッチを目印にしてタックをたたみ、丁寧に折り目をつける



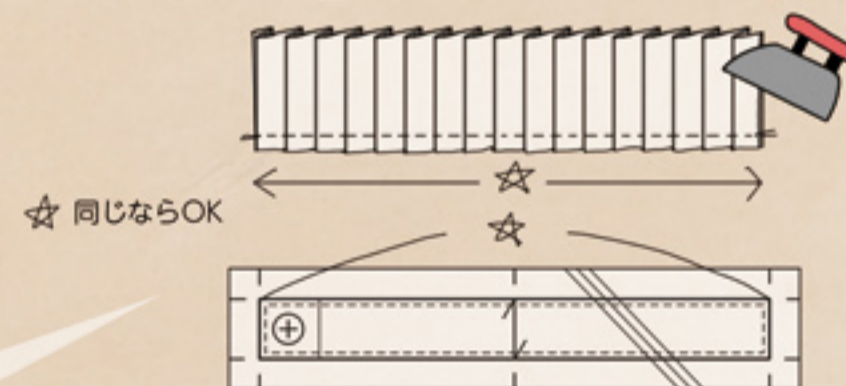
☆※付け寸の目安 (SDM size)
台衿上 : 10.9cm
台衿下 (衿ぐり) : 10.1cm
袖口カフス (上のみ) : 7.5cm

④目打ちで支えながら押さえステッチを入れる



プリーツフリル作り方動画

⑤仕上り寸法になっているかチェックし、アイロンをかけて整える



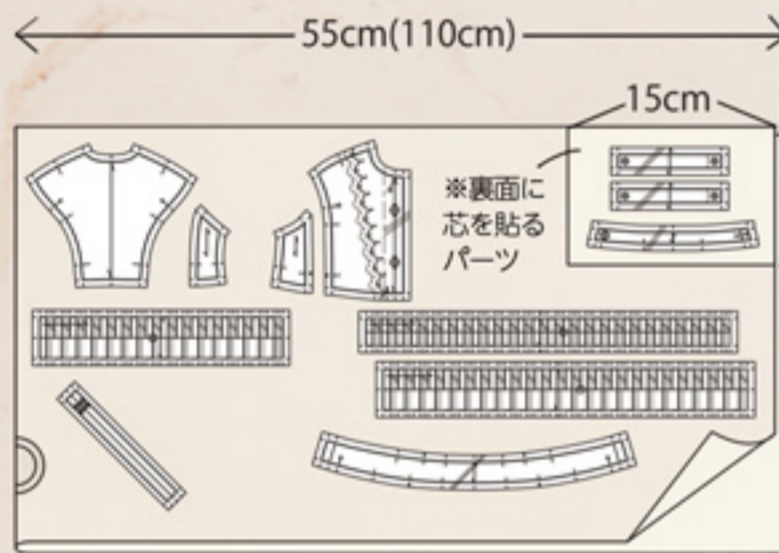
短かったら、数か所の縫い目を切って軽く引っ張り調節、長すぎた場合はぐしぬいを入れて、ギャザーにならない程度に縮めて調節する。

芯地貼り & 生地裁断について

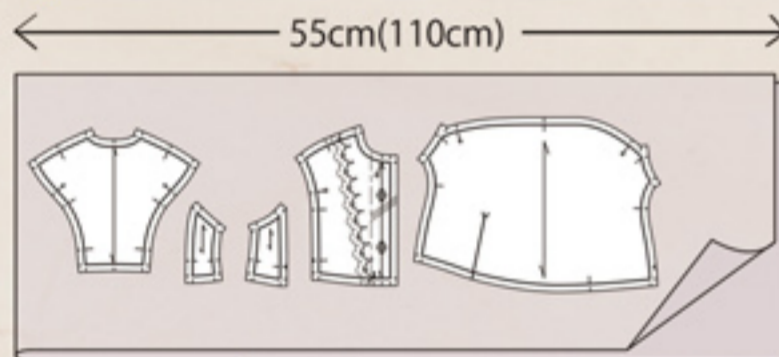
Cutting instruction manual

裁断時の生地の取り方(1着分)の一例です。左右対称に2枚取るパーツは、中表に生地を重ねてパターンを固定して、2枚一緒に裁断します。パーツが1枚余分にとれてしまったときは、綺麗な方を使い、余りは試し縫いのハギレとして使うと良いです。プリント生地は、柄の出方も確認しながら配置します。

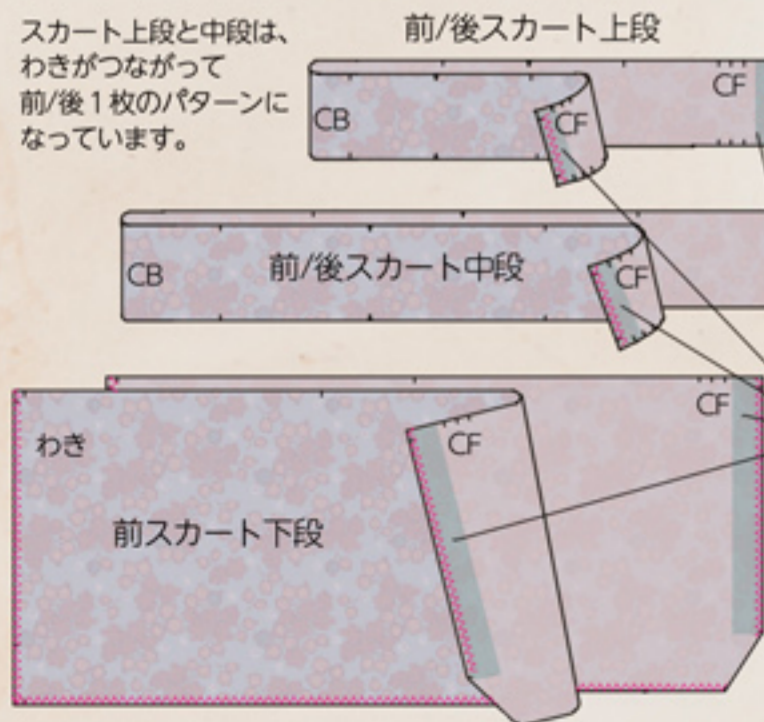
★ワンピース表地/裏地 (60綿ローン白)



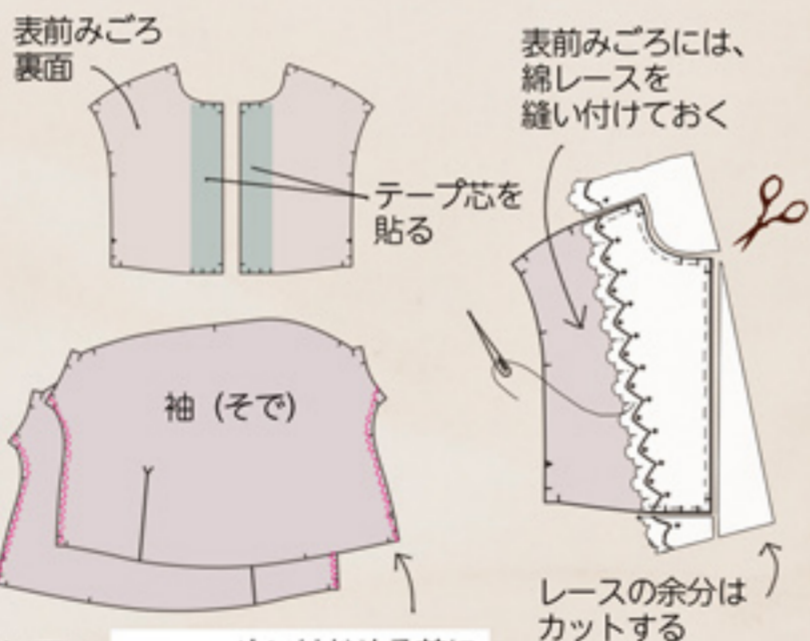
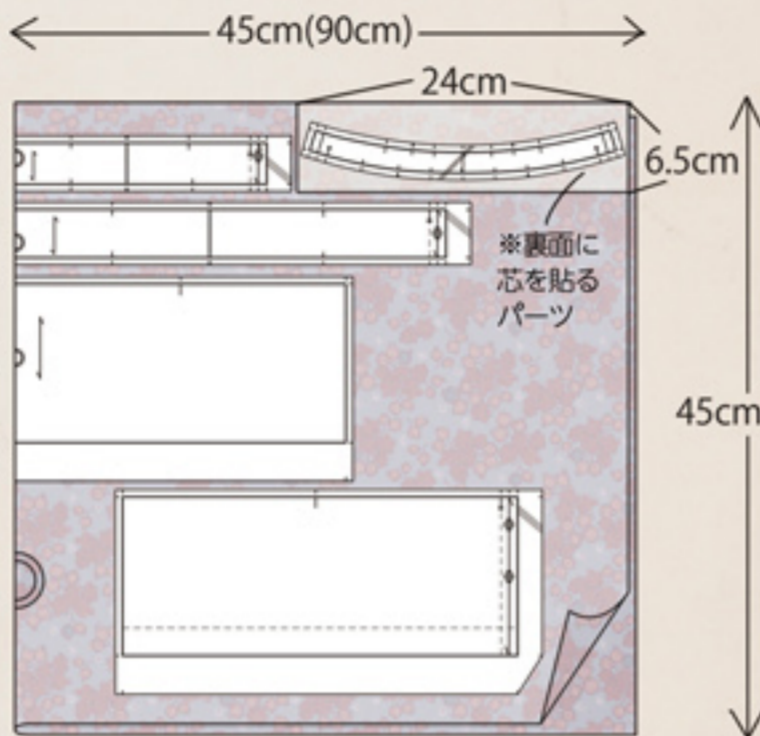
★ワンピース表地配色 (60綿ローン・グレー)



スカート上段と中段は、わきがつながって前/後1枚のパターンになっています。



★ワンピース別布 (ローンプリント)



ぬいはじめる前にロックミシンをかけておく場所

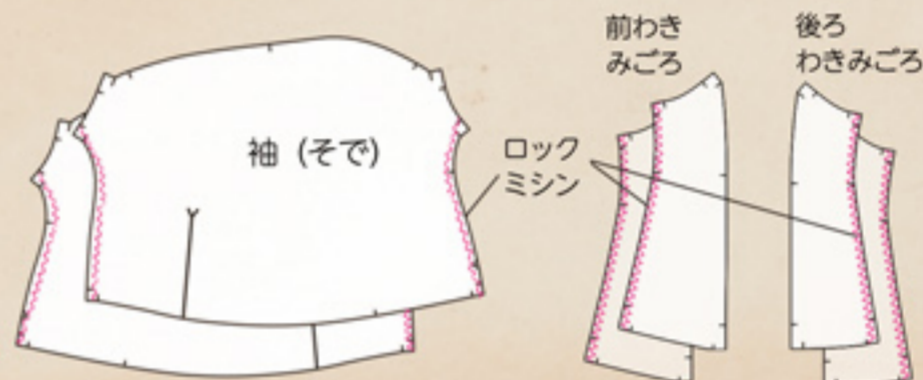
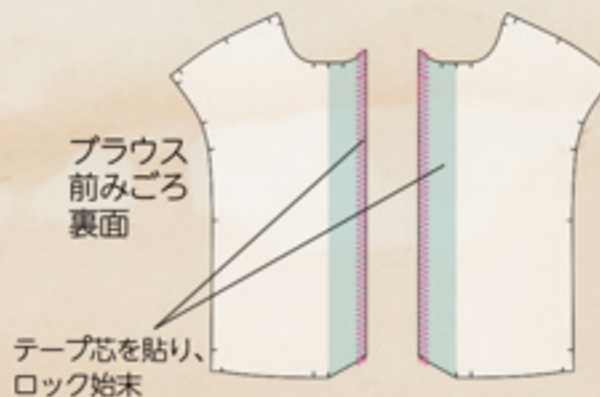
表前みごろには、綿レースを縫い付けておく

レースの余分はカットする

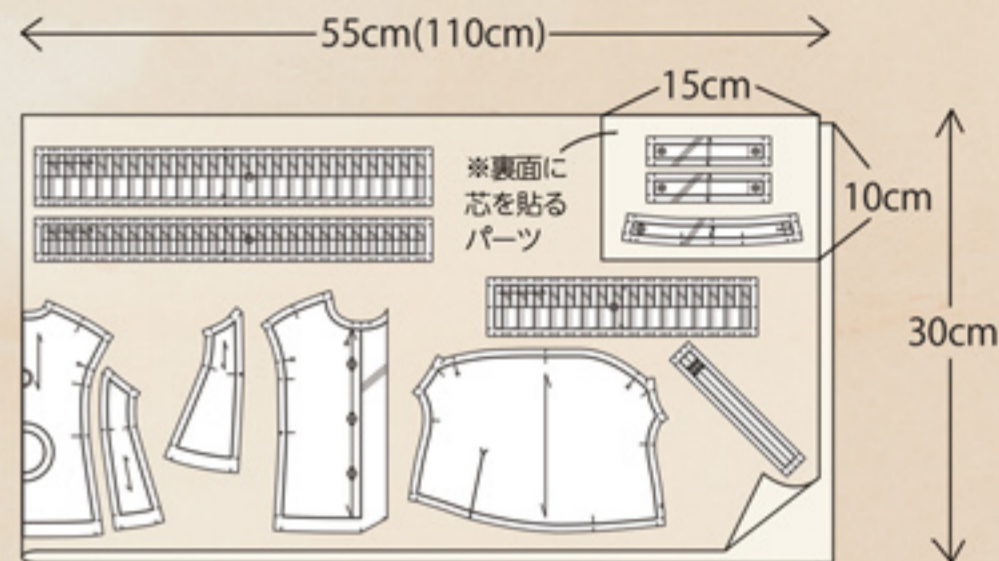
前端裏面にテープ芯を貼ってから、ロック始末

★ブラウス表地・裏地 (60綿ローン)

前後みごろ・前後わきみごろ以外は、ワンピースと共通のパーツを使います。(みごろの裏地は不要です。)



ブラウスは前みごろ前端と、袖の袖下・前わきみごろ・後ろわきみごろの脇ラインのぬいしろにロックミシンをかけておきます。脇ラインは、ぬいしろを割るためです。それ以外のぬいしろはぬい合わせ後に片側に倒すので、縫い合わせ後にロックをかけます。



◆まずは地直しを

生地にたたみじわや折れ目が付いていると、正確に裁断できず、ぬい合わせる線の長さが合わなくなってしまうので、裁断の前に、必ず地直し(アイロンがけ)を行い、熱が完全に冷めてから裁断してください。

◆裏全面に芯を貼るパーツは、芯を貼ってから裁断する

芯地は、ざらざらの面にのりが付いています。のりの面を下にして生地裏面に付くように重ねて、その上にオープンシートを乗せて、紙の真上から低~中温でアイロンを強めに押し付けてしっかりとりのりを溶かして接着させます。芯を接着することで生地が若干収縮するので、完全に熱が冷めて生地が落ち着いてから、裁断します。*テープ状の芯は、裁断後に貼っても大丈夫です。全面芯と同様に、オープンシートをあててアイロンで圧着させ、完全に冷めてから縫製に入ります。

◆レースは水通しを行う

トーションレース・リバーレース・ケミカルレース・チュールレース・綿レースは、水通しをしてから使う事をおすすめします。水通しの方法は様々ですが、簡易的な方法としては、大きめのボウルなどにレースが絡まない程度に水を入れ、糊を落とすような感覚で軽く洗い、タオルにつつんで優しく脱水し、丁寧に形を整えながらレースを広げて陰干しします。水通しをするとレースは縮むので、この水通しを行った後で必要な長さにカットします。*必要用尺にカットしてから水通しを行うと、縮んで長さが足りなくなってしまうので注意してください。

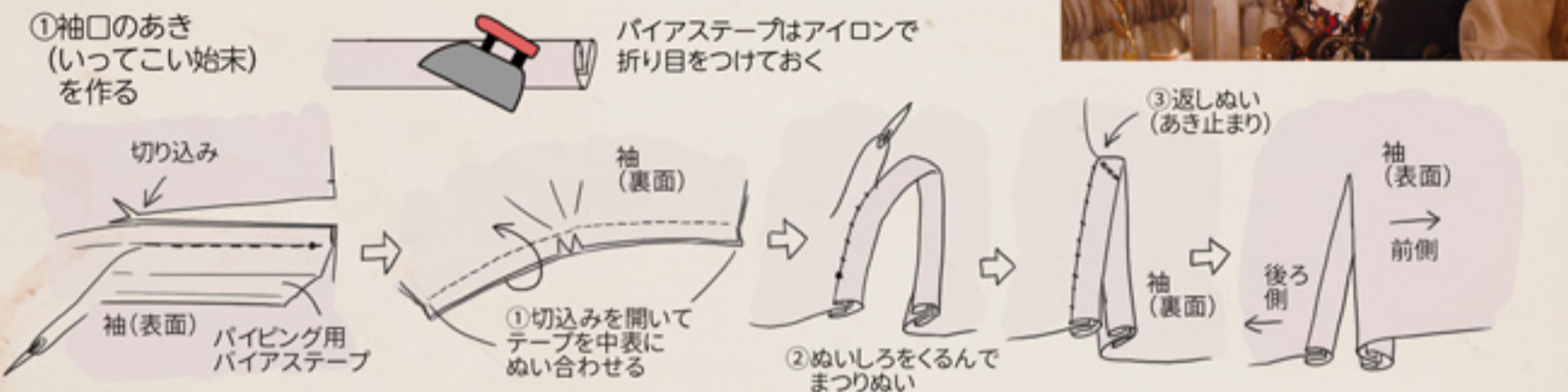


ワンピース[Sylvia-mignon-] 作り方

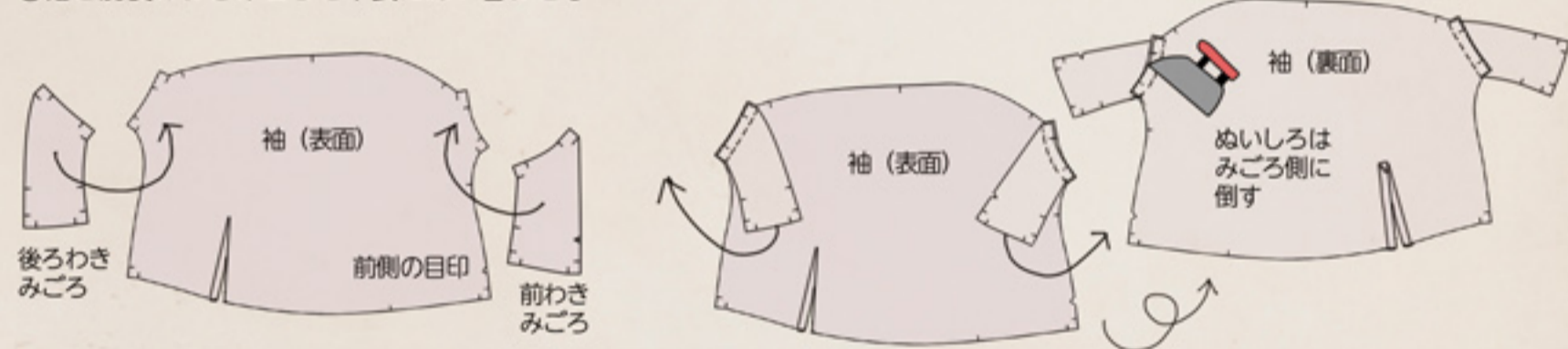
How to Make onepiece [Sylvia-mignon-]



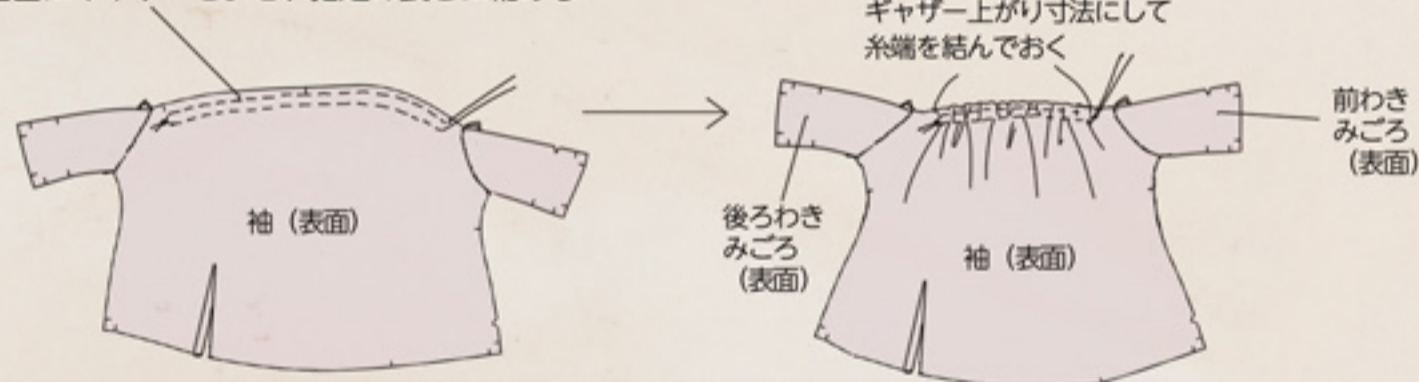
1. 袖のあきを作り、わきみごろとぬい合わせる



②袖と前後のわきみごろを中表にぬい合わせる

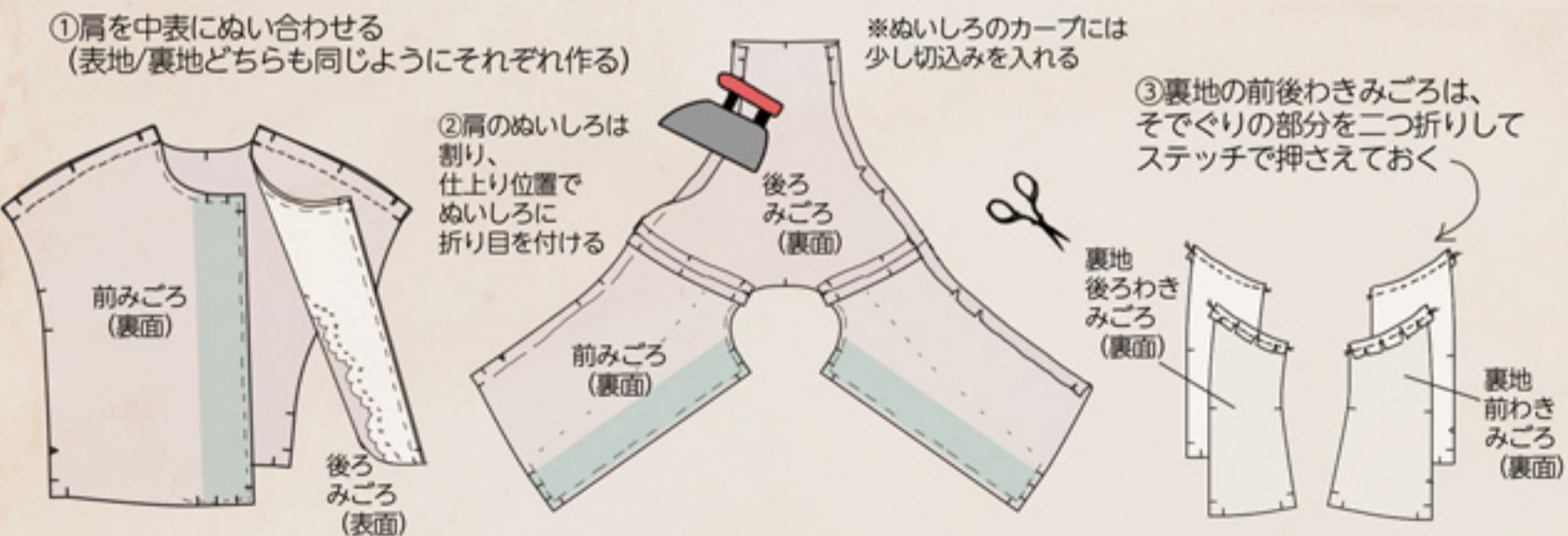


③袖山にギャザーをよせ、指定の長さに縮める



袖口側には、まだギャザーを入れません

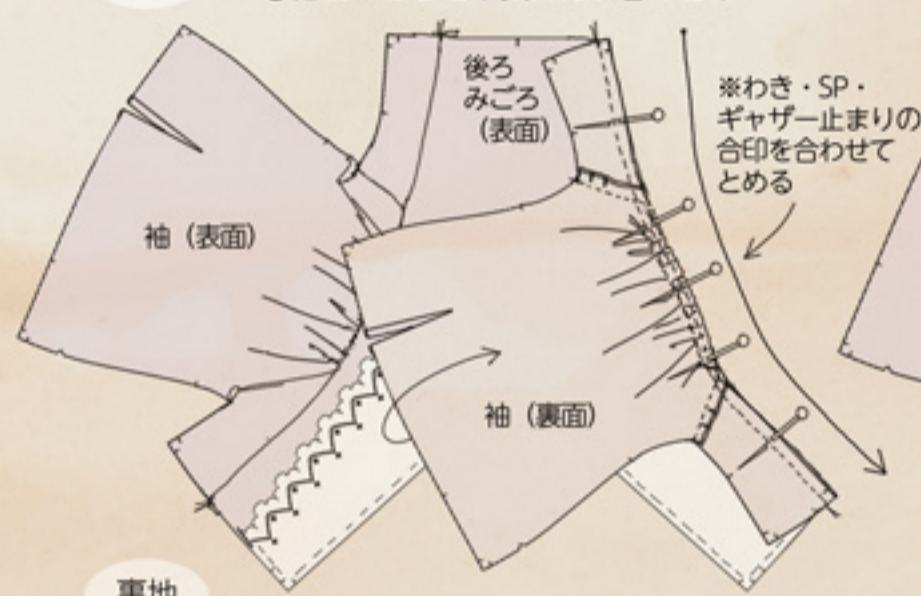
2. 表みごろ/裏みごろと裏わきみごろを作る



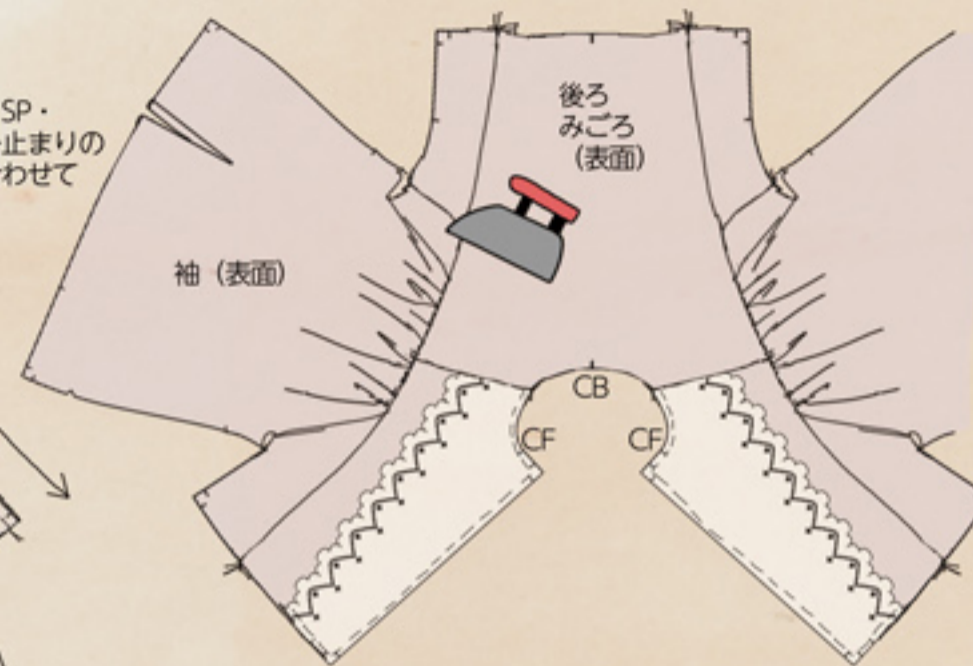
3. 表みごろと袖パーツをぬい合わせる/裏みごろを作る

表地

①袖とみごろを中表にぬい合わせる

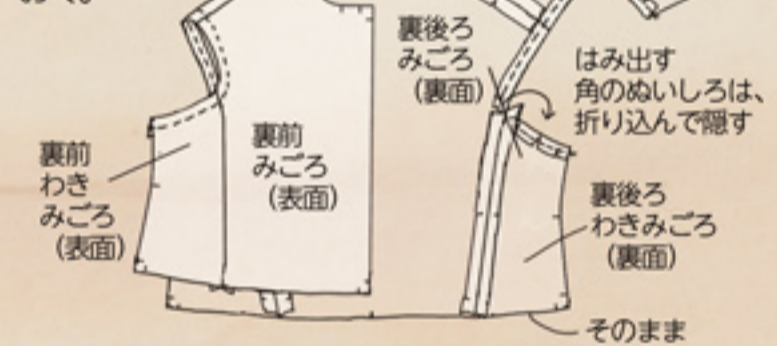


②ぬいしろをみごろ側に倒す

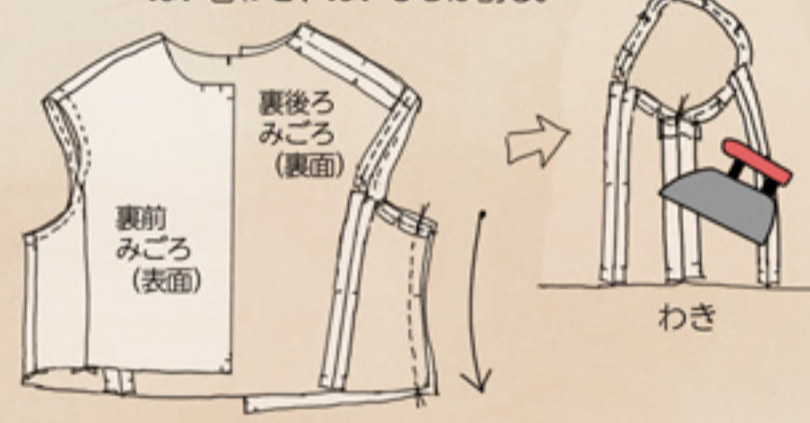


裏地

③裏地みごろと裏わきみごろを前、後ろそれぞれ中表にぬい合わせ、ぬいしろは割る。 ※ウエストのぬいしろはそのまましておく。



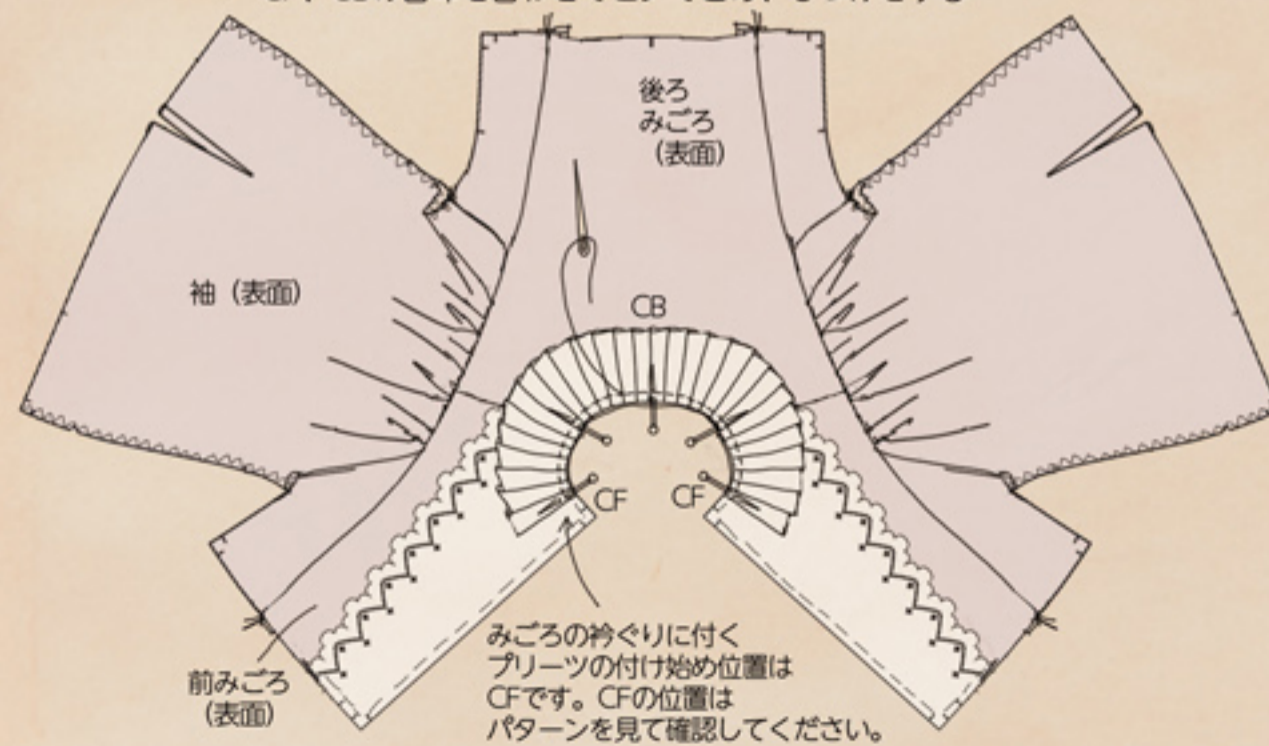
④裏地みごろのわきを中表にぬい合わせ、ぬいしろは割る。



4. 衿ぐりにプリーツフリルを付ける

衿ぐりにそって下側のプリーツフリルを重ね、CF、CBの合印を合わせてピンでとめ、しつけをする

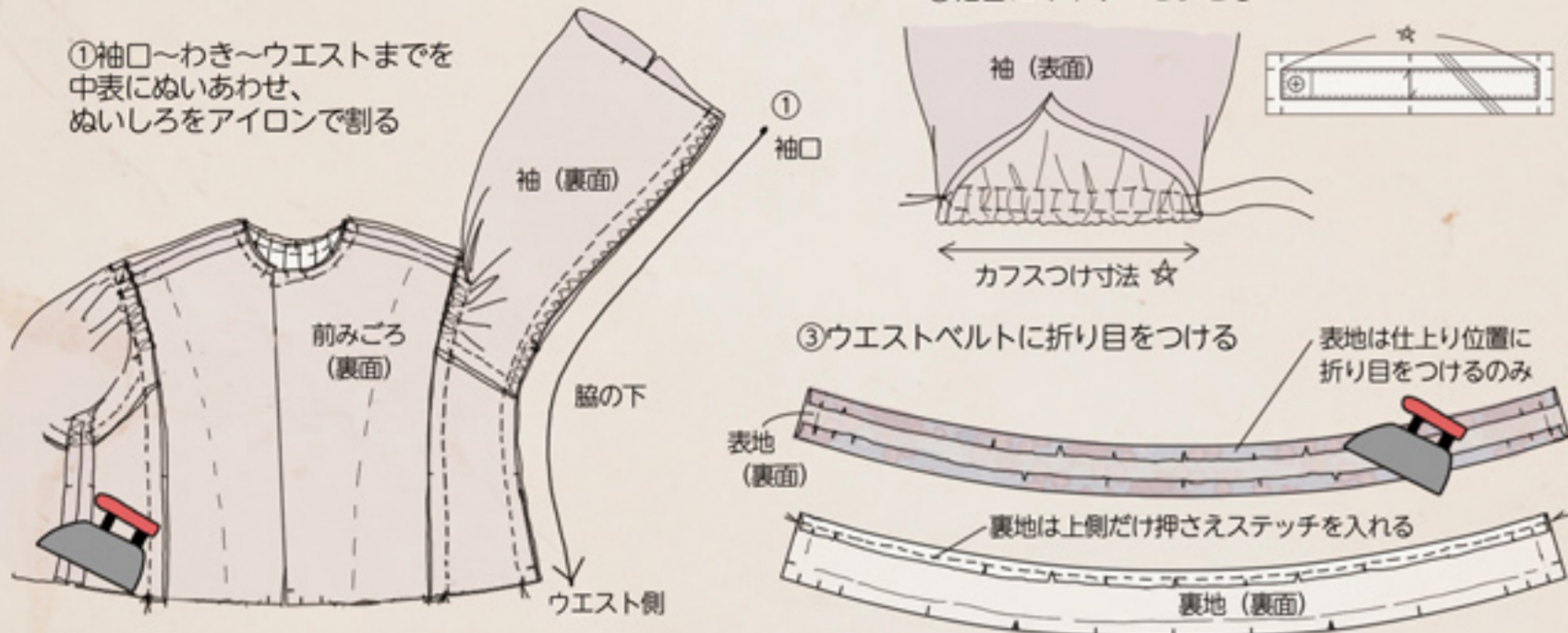
プリーツフリルの作り方はP.3を参照してください



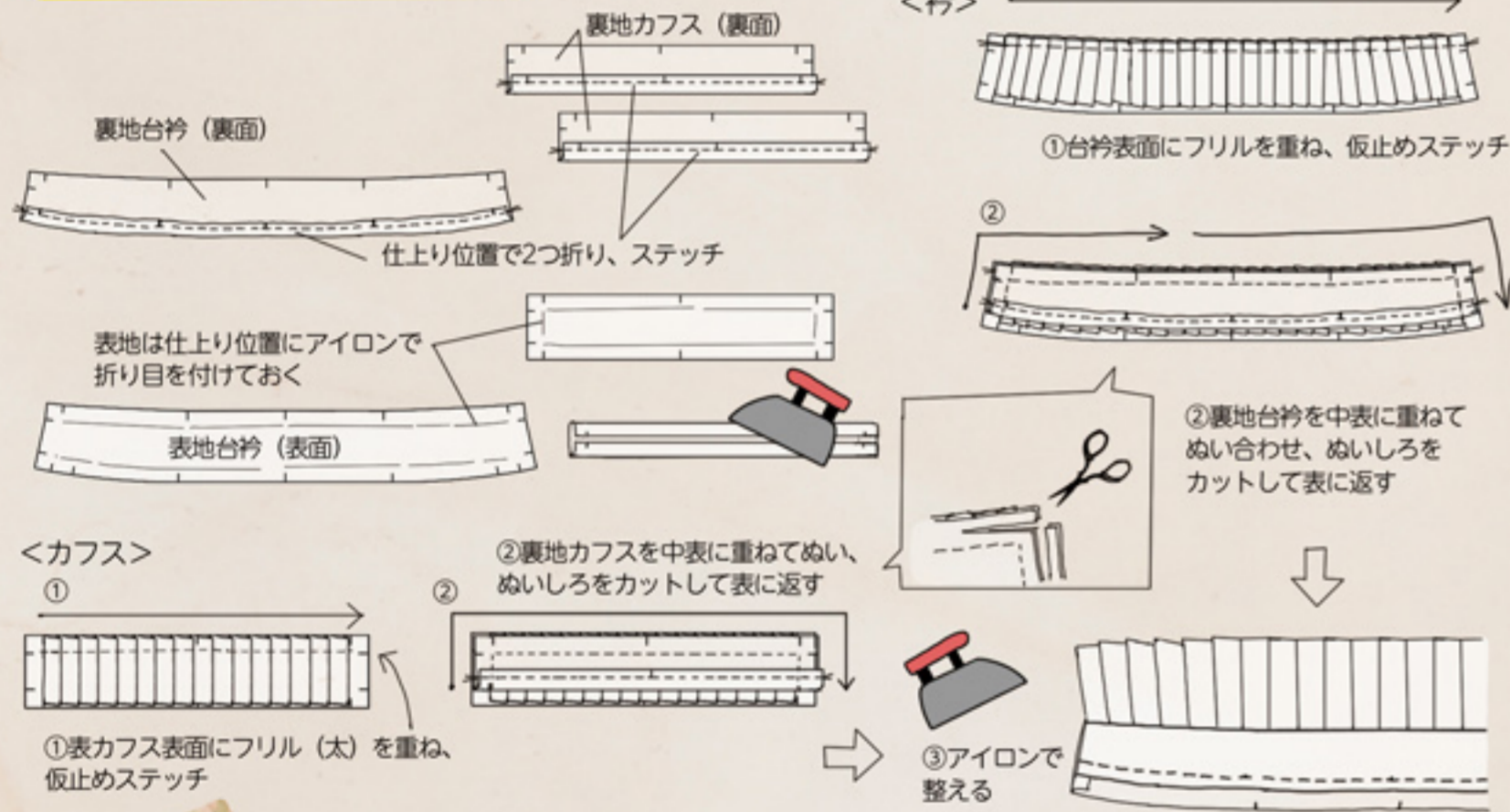
★仮止め (しつけ) は、この後も頻りに使います。しつけには専用の糸 (しろも等) を使うよりも、生地と同色のミシン糸の方がおすすめです。糸が細いことで、抜いた跡の穴が目立たないこと、ぬい合わせ後、抜けずに残ってしまう事があっても、あまり目立たないという利点があるからです。

しつけは、本番のぬい合わせ位置より少しずらした位置に刺せると良いですが、少し難しいので、ちょうどの位置をぬい合わせても、問題ありません。その場合、しつけの糸は本ぬい合わせ後に全部無理に抜こうとしなくても大丈夫です。

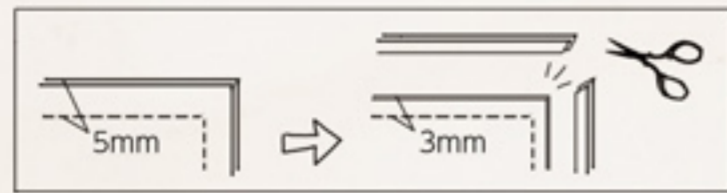
5. 袖下~わきめい~袖口ギャザーよせ/ウエストベルト



6. 衿と袖口カフスのパーツを作る

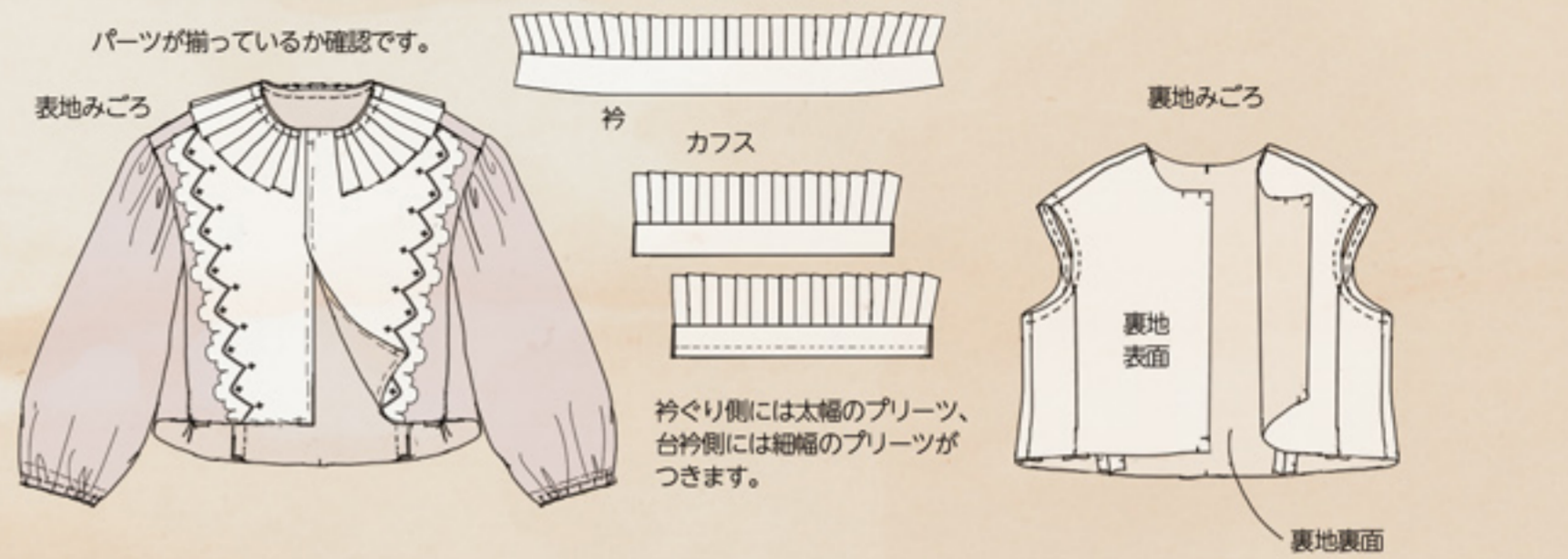


※「ぬいしろカット」とは?

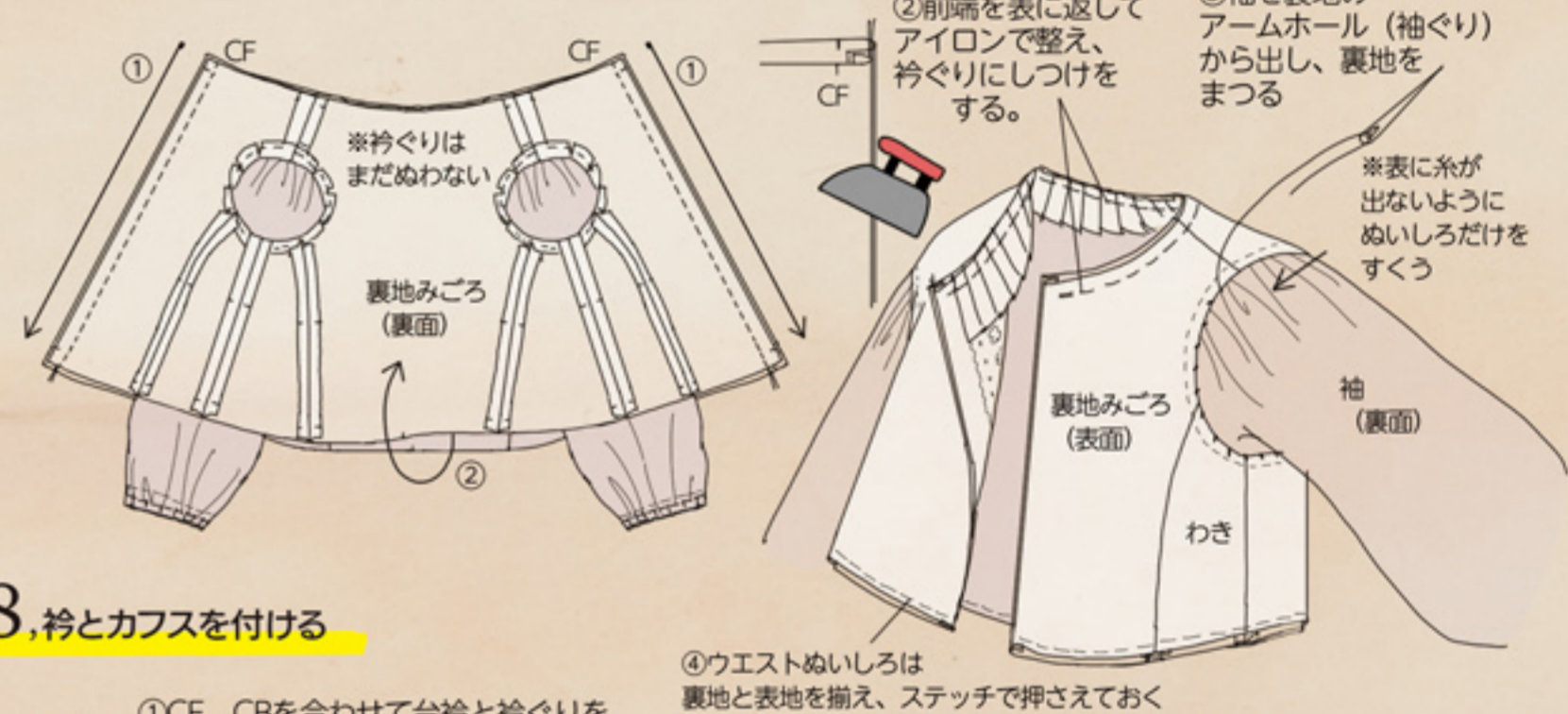


★カフスや衿など、中表にぬい合わせた後で、表に返し、アイロンで形を整えるパーツによく行います。ぬいしろが5mm幅のままだと仕上りに厚みが出てしまい、形がきれいにしきれないので、余分なぬいしろ幅をカットして、ぬいしろを細くする工程を以後こう呼びます。ほとんどの場合、ぬいしろが5mmであれば、2mmほど切り落とし、3mmくらいにする感覚で大丈夫です。但し、ぬいしろを切ると、その後はぬい直しができなくなります。間違えてぬい合わせていないか、ステッチが仕上り位置から大きくずれていないか、よく確認してからカットに進んでください。

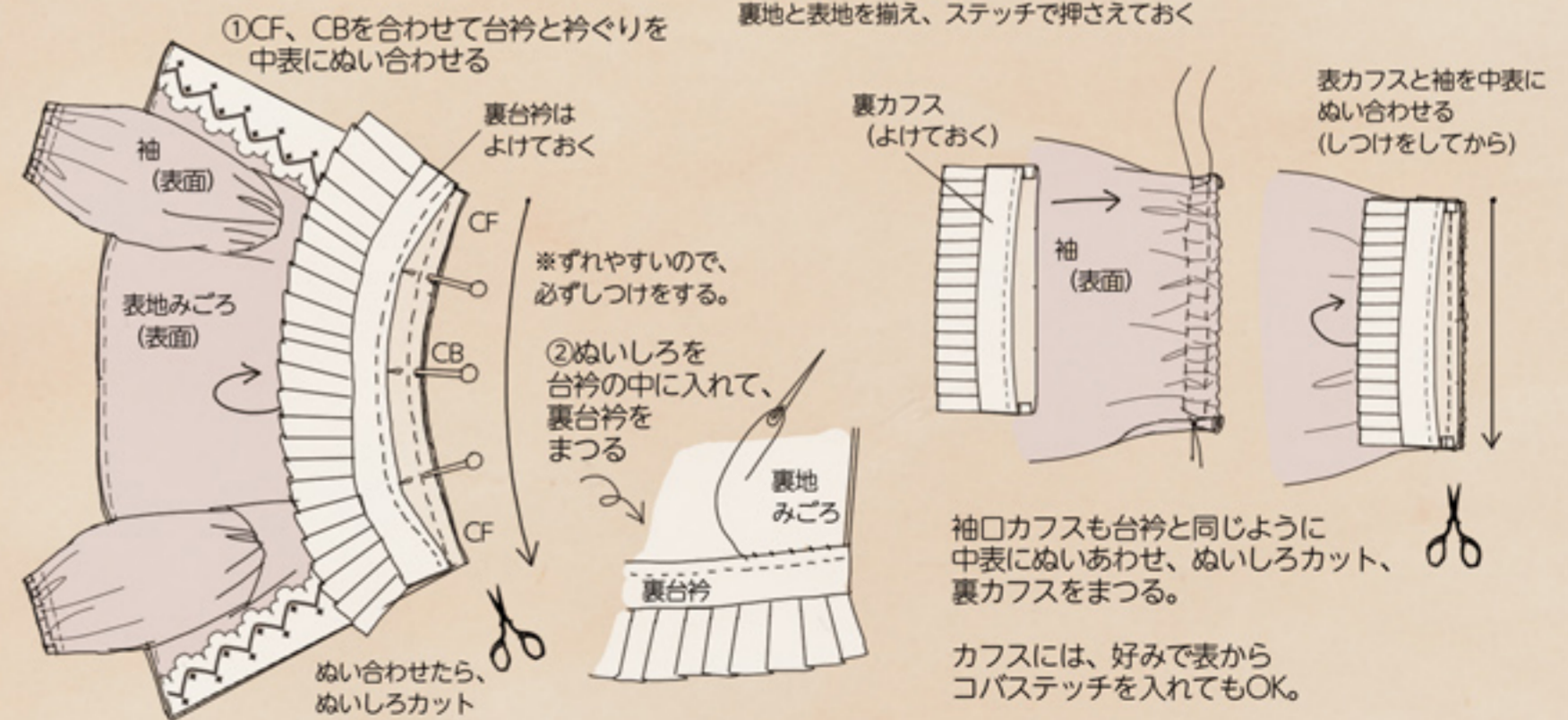
7. みごろに裏地を付ける



①表地みごろに裏地みごろを中表に重ねて、前端をぬい合わせる

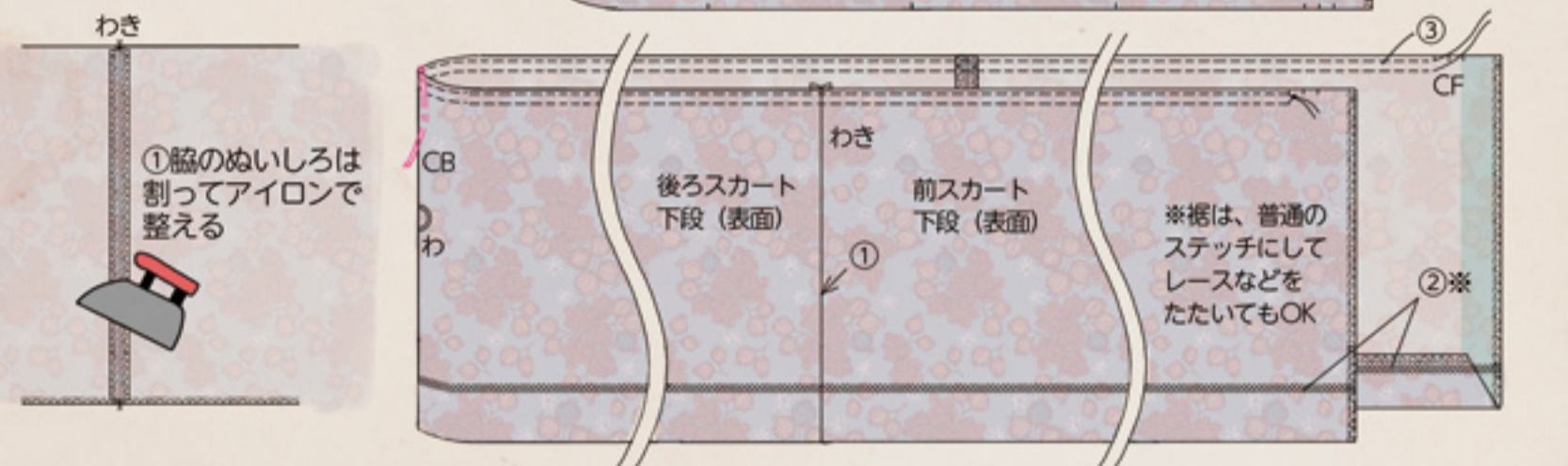


8. 衿とカフスをつける



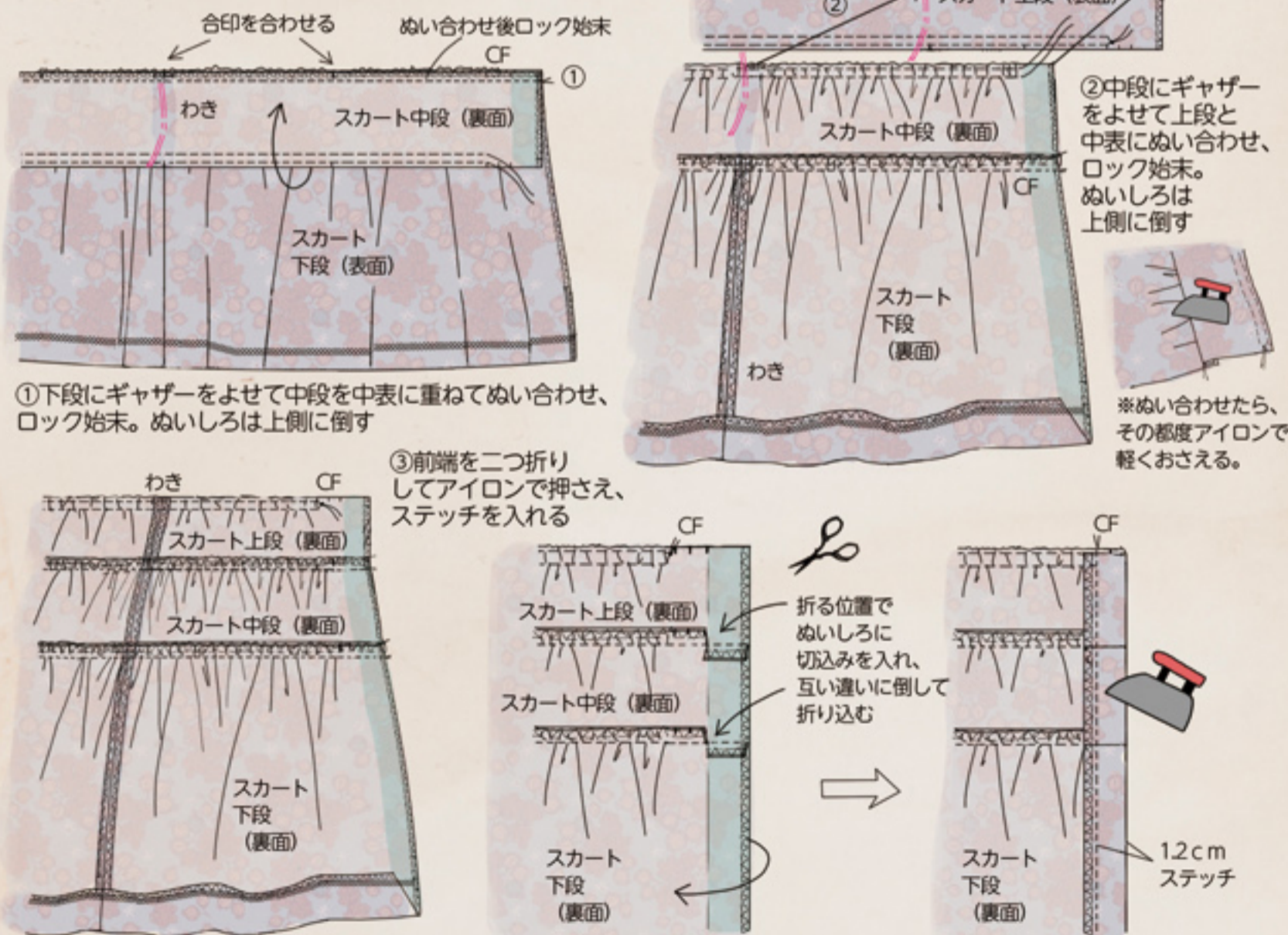
9. スカート各段を作る

- ①下段スカート前後のわきを中表にぬい合わせ、ぬいしろは割る
- ②下段の裾を2つ折りしてアイロン、飾りミシンステッチを入れる
- ③各段のギャザーミシンを入れ、片側を結んでおく (まだ縮めない)



※スカートのギャザーは、必ず下の段と繋いでから、縮めます。(先に縮めてフリルにしてしまうと、下の段と繋ぎにくくなるためです。)

10. スカート下段から順にギャザーをよせて繋ぐ



①下段にギャザーをよせて中段を中表に重ねてぬい合わせ、ロック始末。ぬいしろは上側に倒す

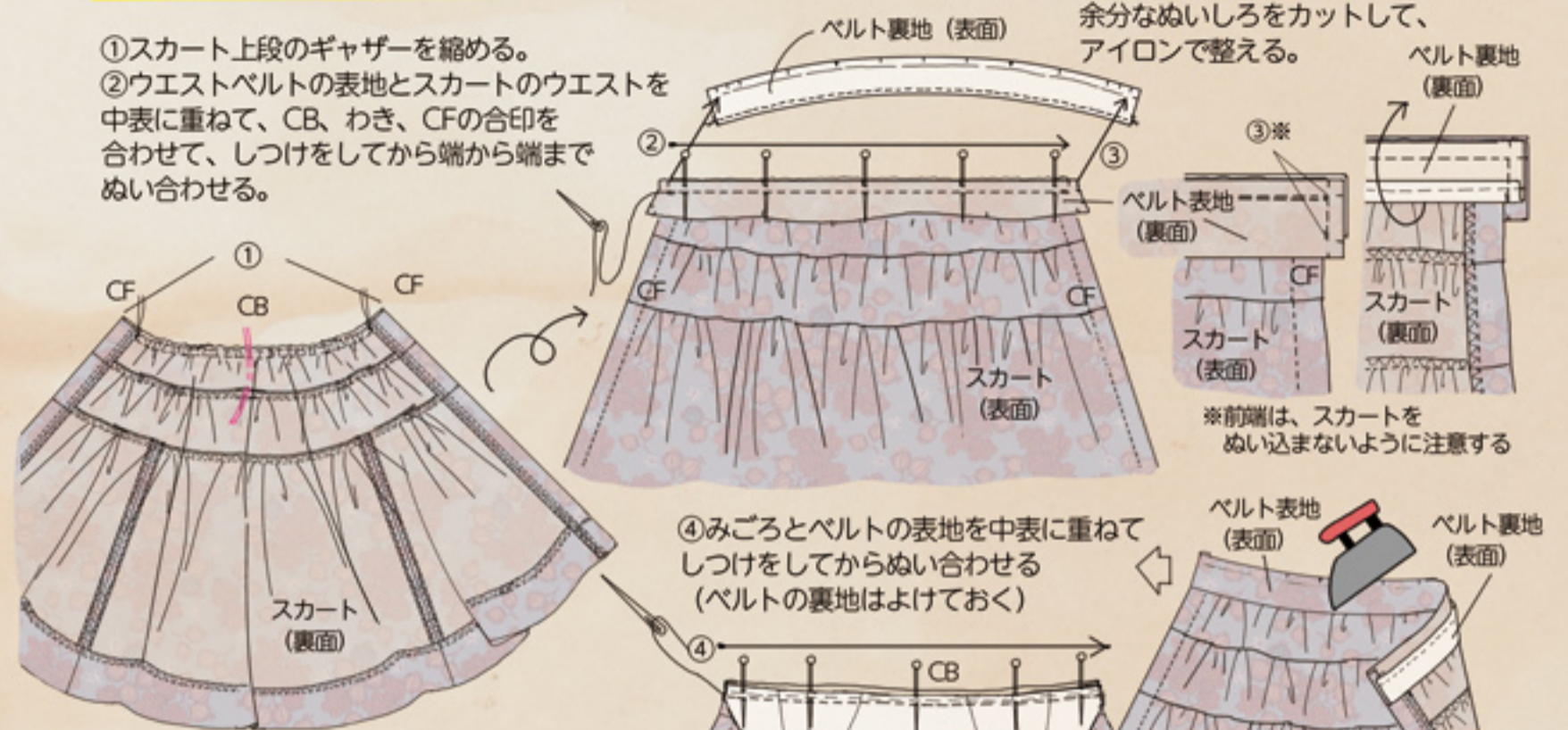
③前端を二つ折りしてアイロンで押さえ、ステッチを入れる

折る位置でぬいしろに切込みを入れ、互い違いに倒して折り込む

12cm ステッチ

11. スカートとみごろを繋ぐ

- ①スカート上段のギャザーを縮める。
- ②ウエストベルトの表地とスカートのウエストを中表に重ねて、CB、わき、CFの合印を合わせて、しつけをしてから端から端までぬい合わせる。



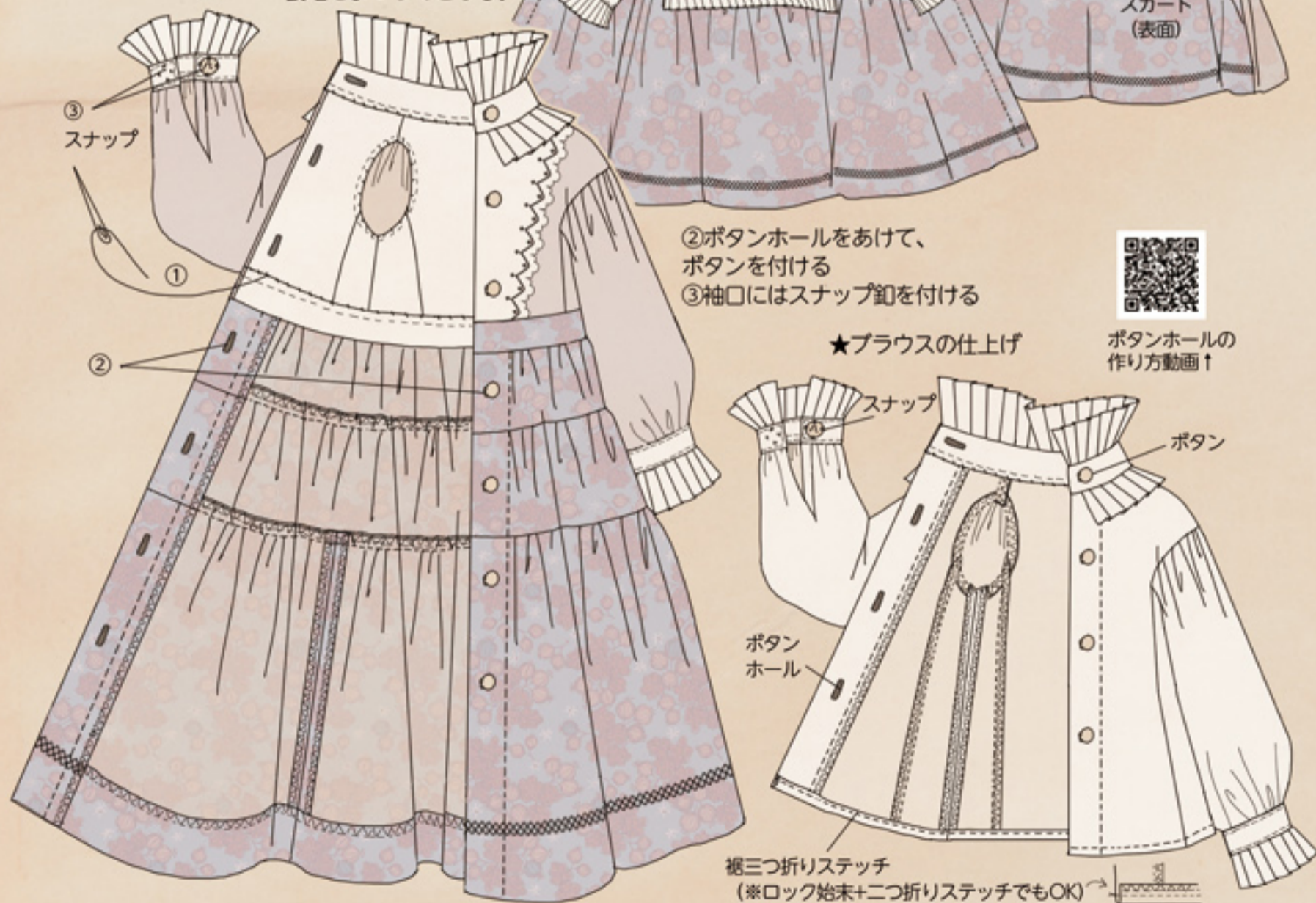
③ベルトの裏地も重ねてぬい返す。余分なぬいしろをカットして、アイロンで整える。

※前端は、スカートをぬい込まないように注意する

④みごろとベルトの表地を中表に重ねてしつけをしてからぬい合わせる (ベルトの裏地はよけておく)

12. 仕上げ

- ①ベルト側にみごろのぬいしろを倒し、ベルト裏地をまつてとじる。



- ②ボタンホールをあけて、ボタンを付ける
- ③袖口にはスナップ鈕を付ける

★ブラウスの仕上げ



ボタンホールの作り方動画↑



裾三つ折りステッチ (*ロック始末+二つ折りステッチでもOK)